

自分の足で未来に1歩踏み出したい 若者の為のシェアハウス事業

このシェアハウスは、親を頼れない若者が、1人暮らしできる力を蓄えるための準備期間を応援することを目的として運営します



児童養護施設を出たばかりの子や、親を頼れない若者が、自分の足で1歩踏み出そうとした時に、安心して帰れる家が必要です。

このシェアハウスは、同じ立場の若者が支え合いながら暮らし、一人暮らし出来る準備を整える場所です。ぜひ皆様のご協力をお願いします。

2020' 3.10
Open



サポーターになって一緒に支えていただけませんか？

企業



プロジェクトのWebサイトにサポーター企業としてのPRページを掲載。入居者が希望した場合、働き手になってくれる可能性も。サポーター企業を対象に定期的な職場定着勉強会も開催。

一口¥3,000/月

個人



入居者の声や暮らしの様子をメルマガでお届けします。また、サポーターを対象に、虐待や児童養護施設について知るためのワークショップを開催します。

一口¥1,000/月

クラウドファンディング



シェアハウス開設のためには、共同住宅にするため、準耐火構造の壁にするなどリフォームする必要があります。皆さまからのあたたかいご支援を、心よりお待ちしております。

¥1,000以上任意

受付時間：10時-17時（平日）
NPO法人どりいむスイッチ
広島県福山市西町1-1-1 エフピコRiM9階



084-971-4865

シェアハウスを応援する Runway プロジェクト

～ どのような環境に生まれても、働き、人生を切り開く権利を守るためのシェアハウス ～

■ 人材確保と社会貢献

シェアハウスで暮らす若者を雇い入れる企業として、また企業のイメージアップにつながる社会貢献活動として、サポーター企業になりプロジェクトに参加していただけますか。貴重な若い人材を、一緒に育てていきましょう。定期的な見守りも行うため、入居者の早期離職を未然に防げる可能性があります。

■ こんな若者がいます

児童養護施設や里親家庭などで暮らす子どもたちの多くは、虐待を受けるなどして保護された子どもたちです。彼らの多くは、18歳になるとそれまで暮らした施設や里親家庭を離れてひとり暮らしをしたり、虐待を受けて離れた家に戻って生活します。また保護されていなくても同じように辛い環境で暮らしている若者もいます。

■ 制度の狭間に

虐待で受けた心身の傷は簡単には癒えないため、十分準備が整わないまま施設などを出ることも珍しくありません。児童福祉法は、基本的に18歳未満の子どもを対象とした法律なので、こうした制度のはざまが生まれます。彼らにはもう少し助走期間が必要です。同じ立場の方同士支え合いながらひとり暮らしができる力を蓄えるためのシェアハウスを応援するのが、Runwayプロジェクトです。



SDGs達成に向けた取り組み

このプロジェクトは、持続可能な社会を目指す開発目標SDGsの右記の項目に取り組みます。貧困の連鎖を断ち切り、どのような環境に生まれても、自分の人生を切り開く権利を守ることを目指します。またそうして育まれた若者が地域を活性化させる原動力になることで地域の持続可能性を高めることに貢献します。



受付時間：10時-17時（平日）
NPO法人どおりむスイッチ
広島県福山市西町1-1-1 エフピコRiM9階

☎ 084-971-4865